

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成24年3月8日(2012.3.8)

【公開番号】特開2010-236623(P2010-236623A)

【公開日】平成22年10月21日(2010.10.21)

【年通号数】公開・登録公報2010-042

【出願番号】特願2009-85589(P2009-85589)

【国際特許分類】

**F 1 5 B 15/14 (2006.01)**

**F 1 5 B 21/04 (2006.01)**

【F I】

F 1 5 B 15/14 3 6 0

F 1 5 B 15/14 3 6 5

F 1 5 B 21/04 D

【手続補正書】

【提出日】平成24年1月25日(2012.1.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 2】

図 8 に示すエアシリンダ A 7 では、第 2 気室 R 2 において空気出入り口 1 3 や油返し部 1 4、バネ 7 が配置された空間と副室 R 2 ' との間にラビリンス状の通気路 1 5 が設けられている。このようなエアシリンダ A 7 によっても、通気路 1 5 やエアフィルタ 6 によって塵埃や油分の外部放出を効果的に防ぎながら先述した実施形態によるものと同様の効果を得ることができる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 3】

図 9 に示すエアシリンダ A 8 は、先述の図 8 に示すエアシリンダ A 7 に対し、油返し部を設けない代わりに筒状ケース 1 0 の内周壁（シリンダ本体 1 の内周壁）に突出部 1 0 B を形成した点が異なるだけである。この突出部 1 0 B は、図 5 に示すエアシリンダ A 4 と同様に、空気出入り口 1 3 に対して潤滑油を入り難くする効果がある。このようなエアシリンダ A 8 によっても、先述した実施形態によるものと同様の効果を得ることができる。